

## 時代を聖書で見る⑥

### 4つの獣の幻

聖書:ダニエル7章;黙示録13章

①4つの獣:海から→異邦人

②第一のものは獅子:鷲の翼が生えていた。翼は引き抜かれ、地面から起き上がらされて人間のようにその足で立ち、人間の心が与えられた→バビロン(紋章は獅子と鷲)

③第二の獣は熊:横ざまに寝て、三本の肋骨を口にくわえていた→メド・ペルシャ(三つの国を滅ぼす)

④第三は豹:背には鳥の翼が四つあり、頭も四つあって、権力がこの獣に与えられた→ギリシャ(アレキサンダーの後、4分割する)

⑤第四の獣:ものすごく、恐ろしく、非常に強く、巨大な鉄の歯を持ち、食らい、かみ砕き、残りを足で踏みにじった。

・10本の角があった→ローマ帝国(正真ローマ帝国、東ローマ帝国、神聖ローマ帝国、フランクローマ帝国、ロンバルディアローマ帝国、その他)

・もう一本の小さな角:ローマカトリック

・三本はそのため引き抜かれた:カトリックによって滅ぼされた国家(ロンバルディアなど)

・この小さな角には人間のように目があり、また、口もあって尊大なことを語っていた

⑥一匹の獣:海の中から、十本の角と七つの頭があった→7つの頭(エジプト、アッシリア、バビロン、メド・ペルシャ、ギリシャ、ローマ、復興ローマ)

⑦十の王冠:10国の王(シリア、トルコ、イラン、イラク、ヨルダン、レバノン、クウェート、パキスタン、リビア、アフガニスタンか?)→反キリストの出自はイスラム圏から

・豹に似ており、足は熊の足のようで、口は獅子の口のよう

・竜はこの獣に、自分の力と王座と大きな権威とを与えた。

・この獣の頭の一つ復活する

・竜が自分の権威をこの獣に与え人々は竜を拝む

・獣をも拝む

・獣にはまた、大言と冒流の言葉を吐く口が与えられ、四十二か月の間、活動する権威が与えられる(cf.ダニエル7:25)